



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東 大

上場会社名 タキロン株式会社

コード番号 4215 URL <http://www.takiron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 兵頭 克盛

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長

(氏名) 武田 豊

TEL 06-6453-3845

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	33,598	1.8	2,021	△0.5	2,060	6.2	983	△22.0
23年3月期第2四半期	33,002	9.5	2,031	294.1	1,940	477.0	1,261	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 893百万円 (△17.9%) 23年3月期第2四半期 1,088百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	13.58	—
23年3月期第2四半期	17.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	77,903	—	41,041	—	51.8
23年3月期	76,775	—	40,845	—	52.1

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 40,391百万円 23年3月期 40,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	70,000	4.9	4,300	1.9	4,100	1.2	2,000	△19.4	27.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	78,698,816 株	23年3月期	78,698,816 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	6,518,895 株	23年3月期	6,015,957 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	72,411,548 株	23年3月期2Q	73,037,960 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 連結財務諸表等	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) セグメント情報等	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災で影響を受けたサプライチェーンの復旧に伴い、企業の生産活動や輸出さらには個人消費についても持ち直しの動きが見られました。しかしながら、依然として厳しい雇用情勢やデフレの継続、さらには、欧州の金融不安や米国経済の停滞懸念を背景に、記録的な円高や株安が継続し、輸出企業の業績の下振れ圧力が強まるなど、景気は厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は335億9千8百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は20億2千1百万円（前年同期比0.5%減）、経常利益は20億6千万円（前年同期比6.2%増）、四半期純利益は9億8千3百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

セグメント別の事業の状況は、次のとおりであります。

住環境事業

住宅資材部門は、新雨どいシステムのジェットラインがハウスメーカー・ビルダーでの採用の増加により、順調に推移しました。また、戸建住宅の新設住宅着工戸数が増加したことにより、小口径マスのパイプインバート等の管工機材の需要も増加し、売上は前年同期を上回りました。

採光建材部門は、ポリカーボネート製波板、平板、加工品共に順調に推移しました。波板は災害復旧用途に、平板は道路・鉄道の透光板向けに、加工品は工場・倉庫改修向けに、各々需要が増加したことにより、売上は前年同期を上回りました。

環境・土木部門は、東日本大震災による予算執行の遅れが影響し、公共投資を中心に、低調に推移し、部門の売上は前年同期を下回りました。

エンジニアリング部門は、管更生分野（下水管渠のリニューアル材）が、前年度からの物件が今期にずれ込んだことにより、売上は前年同期を上回りました。一方、上下水分野は、大型物件の減少により、低調に推移しました。

その結果、住環境事業の売上高は、174億7千2百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は、9億3千7百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

床事業

床事業は、東日本大震災の影響によるマンション改修工事の遅れなどが発生したことにより、売上は前年同期を下回りました。また、利益面では原材料価格上昇の影響を受けました。その結果、床事業の売上高は、40億9千2百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は、7億7千1百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

高機能材事業

プレート部門は、東日本大震災の影響や欧米の景気減速による生産調整により、IT関連企業の生産計画の先送りなどの動きが見られ、FMプレート（難燃材料）や制電プレートなど工業用プレートの需要が低迷し、売上は前年同期を下回りました。

ポリカプレート部門は、機械カバー用途を主体とした高機能品が堅調に推移しましたが、汎用品および光学品が伸び悩み、売上は前年同期を下回りました。

また、その他の部門においては、樹脂製タンク等の震災復旧需要等が増加し、売上は前年同期を上回りました。

その結果、高機能材事業の売上高は、109億4千7百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は、2億8千5百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

メディカル事業

骨接合材料部門は、頭蓋顎顔面外科分野のスーパーフィクソープMXの販売及び整形外科・胸部外科・心臓血管外科分野を中心とするスーパーフィクソープの販売がともに順調に推移し、全体として売上は前年同期を上回りました。

その結果、メディカル事業の売上高は、10億8千6百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益は、2千6百万円（前年同期は5千6百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より11億2千7百万円増加し、779億3百万円となりました。これは、有形固定資産が7億1百万円減少したものの、主に現金及び預金、商品及び製品が増加したことにより、流動資産が19億4千5百万円増加したことによるものです。一方、負債は、前連結会計年度末より9億3千1百万円増加し、368億6千1百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加により流動負債が5億2千2百万円増加したことによるものです。また、純資産は、前連結会計年度末より1億9千5百万円増加し、410億4千1百万円となりました。自己資本比率は、51.8%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は、全連結会計年度末から13億8千7百万円増加し、94億8千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、28億1千8百万円の増加となりました（前年同四半期は61億8千8百万円の増加）。これは、主にたな卸資産の増加による減少要因が13億円ありましたが、税金等調整前当期純利益19億5千2百万円、減価償却費15億6千4百万円の計上と仕入債務の増加9億6千7百万円の増加要因によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、11億4百万円の減少となりました（前年同四半期は23億2千3百万円の減少）。これは、主に有形固定資産の取得による支出11億3千9百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億6千6百万円の減少となりました（前年同四半期は24億8千3百万円の減少）。これは、主に配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用

当第2四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,105	9,491
受取手形及び売掛金	23,181	22,606
有価証券	19	19
商品及び製品	6,492	7,270
仕掛品	2,322	2,615
原材料及び貯蔵品	1,762	1,856
繰延税金資産	755	758
その他	991	938
貸倒引当金	△156	△138
流動資産合計	43,473	45,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,826	7,504
機械装置及び運搬具(純額)	4,857	4,579
土地	10,364	10,073
建設仮勘定	123	376
その他(純額)	1,160	1,097
有形固定資産合計	24,332	23,630
無形固定資産		
のれん	436	360
その他	479	457
無形固定資産合計	915	817
投資その他の資産		
投資有価証券	2,997	2,980
繰延税金資産	3,676	3,741
その他	1,651	1,533
貸倒引当金	△271	△219
投資その他の資産合計	8,053	8,035
固定資産合計	33,302	32,483
資産合計	76,775	77,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,851	14,362
短期借入金	3,062	3,096
1年内返済予定の長期借入金	600	300
未払法人税等	988	977
賞与引当金	910	905
その他	3,190	3,483
流動負債合計	22,603	23,125
固定負債		
長期借入金	1,000	1,500
繰延税金負債	967	963
退職給付引当金	10,022	9,981
役員退職慰労引当金	218	172
資産除去債務	200	201
その他	917	917
固定負債合計	13,326	13,736
負債合計	35,930	36,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	14,667	14,667
利益剰余金	11,671	12,328
自己株式	△1,731	△1,880
株主資本合計	39,796	40,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300	161
為替換算調整勘定	△73	△73
その他の包括利益累計額合計	227	87
少数株主持分	821	649
純資産合計	40,845	41,041
負債純資産合計	76,775	77,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	33,002	33,598
売上原価	21,781	22,447
売上総利益	11,220	11,151
販売費及び一般管理費	9,189	9,130
営業利益	2,031	2,021
営業外収益		
受取配当金	38	41
その他	133	132
営業外収益合計	172	174
営業外費用		
支払利息	56	60
たな卸資産処分損	69	31
その他	136	43
営業外費用合計	263	135
経常利益	1,940	2,060
特別利益		
投資有価証券売却益	10	—
保険解約返戻金	5	—
その他	1	0
特別利益合計	17	0
特別損失		
固定資産処分損	28	42
減損損失	9	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	217	—
災害による損失	—	32
事務所移転費用	—	32
その他	1	—
特別損失合計	256	108
税金等調整前四半期純利益	1,700	1,952
法人税等	438	920
少数株主損益調整前四半期純利益	1,262	1,032
少数株主利益	0	48
四半期純利益	1,261	983

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,262	1,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166	△137
為替換算調整勘定	△6	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△173	△138
四半期包括利益	1,088	893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,096	843
少数株主に係る四半期包括利益	△8	50

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,700	1,952
減価償却費	1,655	1,564
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△72	△82
賞与引当金の増減額(△は減少)	79	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	217	—
のれん償却額	28	48
受取利息及び受取配当金	△44	△43
支払利息	56	35
売上債権の増減額(△は増加)	2,263	297
たな卸資産の増減額(△は増加)	△390	△1,300
仕入債務の増減額(△は減少)	1,073	967
その他	39	153
小計	6,608	3,596
利息及び配当金の受取額	46	36
利息の支払額	△55	△35
補助金の受取額	—	18
法人税等の支払額	△410	△797
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,188	2,818
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	301	—
有形固定資産の取得による支出	△944	△1,139
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△149	△77
投資有価証券の取得による支出	△57	△10
投資有価証券の売却による収入	12	—
投資有価証券の償還による収入	200	—
長期前払費用の取得による支出	△168	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	88
子会社株式の取得による支出	△1,565	—
その他	48	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,323	△1,104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,603	48
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△550	△300
リース債務の返済による支出	△110	△99
自己株式の取得による支出	△0	△149
配当金の支払額	△219	△362
少数株主への配当金の支払額	—	△3
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,483	△366
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,375	1,346
現金及び現金同等物の期首残高	9,033	8,096
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	39
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,409	9,483

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,469	4,207	11,398	926	33,002	—	33,002
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	8	3	—	32	(32)	—
計	16,489	4,215	11,402	926	33,034	(32)	33,002
セグメント利益 又は損失(△)	833	960	293	△56	2,031	—	2,031

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,472	4,092	10,947	1,086	33,598	—	33,598
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	6	14	—	41	(41)	—
計	17,493	4,098	10,962	1,086	33,640	(41)	33,598
セグメント利益 又は損失(△)	937	771	285	26	2,021	—	2,021

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。